

2022年8月3日

会員 各位

北九州 CDE の会
会長 丸子 浩

「令和4年度 北九州 CDE の会総会」の議決、その他連絡について

日本各地で体温超えの危険な暑さが続いています。もう暫く凌げば、このような猛烈な暑さは和らいでくると思われますが、くれぐれも熱中症にお気をつけください。みなさまのご健康を祈念いたします。

さて、7月16日（土）、パークサイドビルにて2022年度総会（参加26名 委任状277名）が開催されました。まずは全議案が無事に議決されたことを報告いたします。詳細は同封の資料をご参照くださいますようお願いいたします。

今回はオンライン視聴も可能とし、北九州市健康推進課の渡辺美穂様から「北九州市 CKD（慢性腎臓病）予防連携システムについて」の演題でご講演いただきました。スライドは会のホームページにも掲載しておりますのでご参照ください。

1. 健康21世紀福岡県大会につきまして（参加協力願い）

10月2日（日）に健康21世紀福岡県大会が開催されます。この大会は県主催の健康行事で、保健、医療、健康づくりなどの関係団体が連携し、健康づくりの情報提供と実践方法の紹介を行うものです。

行政の健康行事で、昨年度に筑後糖尿病療養指導士会が血糖測定を行っていますが、県主催の大会は新型コロナウイルス感染症が始まって以来の開催（昨年はオンライン開催）となります。今回は、福岡県医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、臨床衛生検査技師会、理学療法士会などの医療団体も主催する形で行われます。

北九州 CDE の会も糖尿病対策推進会議の支援のもと、本大会に参加いたします。血糖測定と医療・栄養相談（専門医・CDE の会担当）の内容でブースを設置しますので、会員のみなさまには是非とも参加・ご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

第21回健康21世紀福岡県大会 ～元気100年！家族で健康フェスティバル～

日時：令和4年10月2日（日）10:00～17:00

場所：西日本総合展示場（小倉北区浅野3丁目8-1）

内容：血糖測定・結果説明、医療相談・栄養相談（更新ための行事参加 1回付与）

※主に血糖測定にご協力いただける看護師・検査技師の方を募集いたします。

その他の職種の方も会場係として募集します。ご協力ください。

右の二次元バーコードより申し込みいただくようお願いいたします。



kitakyusyucde@yahoo.co.jp

2. 第1回 CDE の会研修会（オンライン開催）

日時：10月16日（日） 9：30～12：30

詳細は同封のチラシをご覧ください。

3. 総会挨拶でお話した内容についての報告（一部省略）

まず、みなさまに報告がございます。

7月12日（火）の夜、当会で副会長を務めておられました安永勝代さんが、ご逝去されました。安永さんは副会長として北九州 CDE の会を支えてこられました。

糖尿病デーライトアップ、まちかど糖尿病教室など、会の新しい事業の開拓者でもあり、大きな功績を残されました。当会の中にも安永さんと交流され、思い出の多い人もいるのではないかと思います。安永さんから、「病気になりました。役員を辞めたいと思います。」「手術はできません。薬で治療をすることになりました。」とお話があったのは12月の終盤でした。

それから入院や治療の傍ら、ご自身の後任の方を推薦され、安永さんが担当されていた事業の資料などの作成、引継ぎをしていただきました。ご自身の病気がわかり、副作用の少ない治療が始められた、お体も精神的にも非常につらい中で最後まで当会のために尽くしていただきました。本当に感謝の念にたえません。3月には製鉄記念八幡病院を退職されたと聞いております。その後はご家族やお孫さんと大切な時間を過ごされたそうです。ご家族に囲まれ、最後は「眠らせて」とお言葉を残されたそうです。

総会を始めるにあたり、会場の参加者と併にご冥福をお祈り、黙とうを捧げました。

この関連で報告とお願いがあります。

現在、安永さんの代行として、ライトアップ委員の岡田圭子さんに役員会に参加していただき、会の運営にご協力いただいております。会員の皆様、よろしくお願い致します。

安永さんの退任、岡田さんが代行ということで、ライトアップ委員の人数が減っています。会員のみなさまで委員として協力していただける方を募集しております。

また、他の委員会、まちかど糖尿病教室、認定研修委員なども、退職等の関係で委員数が減っております。委員を募集しておりますので、ご協力いただける方は連絡を頂けますと幸いです。

次に認定制度に関する件で報告です。

日本糖尿病療養指導士についてです。今まで CDEJ の方が北九州 CDE になる場合は、認定研修と試験、面接を受けることになっておりました。このほど、県内の他地区と同様に CDEJ が北九州 CDE になることを希望した場合は、研修と試験を受けることなく、北九州 CDE になれるよう変更がありました。年度内には認定制度の規約改訂もあるかと思えます。

次に、DM ensemble という日本糖尿病協会が発行している雑誌につきまして。この雑誌の購読を福岡県の糖尿病療養指導士会で義務化する動きがあります。CDE の更新条件とするという話も出ております。まだ、決定したわけではありませんが、近いうちに更新の条件になるかもしれませんので、あらかじめお知らせしておきます。

次に糖尿病協会からの依頼をお伝えします。

会員の皆様は糖尿病とスティグマという言葉をご存知でしょうか。スティグマは偏見と訳すのだそうです。以前から、「糖尿病」という病名が差別につながっているという指摘があります。

日本糖尿病協会では、医療従事者の言葉から変えていこうという考えのもと「糖尿病」という病名だけでなく、「療養指導」という言葉も変えていくという方針です。「療養」は「隔離」のイメージ、「指導」は「上から目線」の印象が拭えないというのです。

「療養指導士」を「CDE」という言葉に。「療養指導士認定委員会」を「CDE 認定委員会」にして欲しいということです。北九州地区はもともと CDE を名乗っておりますので、大きな影響はありませんが、療養指導という言葉が協会が使わない方針であることをご認識ください。

以 上